

令和2年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

歌壇

寺尾 登志子 選

特選

熱爛の首をつまんで眼をやれば布団の外に頭ふたあつ

関 口 中川 良二

逝く前もいつもと同じ話だけ言いたかったよ感謝の言葉

千 石 内山 結月

その実り戦後の生活支へけむ野に還りゆく祖母の山畑

千駄木 伊藤 恵津子

入選

新聞で折りし屑かご回しつつ目につく見出し拾い読むかな

千 石 菊地 正矩

飽きもせず妻を置きざり碁とゴルフ青きままにて青く老いたし

本 郷 高木 洋祐

いいでしょう美味しいでしょう今日もまた自画自賛する愛妻の味

白 山 長濱 直

元旦の意味をスマホに教えられ君と味わう大和の心

水 道 菅井 茂子

歪なる柚子の実ひとつ手に抱み過ぎし一年ふりかへりをり

本駒込 唐木 よし子

編み込みのセーターを解くてこずりし一目一目を懐かしみつゝ

千駄木 上杉 紀世子

「おはよう」と毎朝交わす幾人よ私の宝であって下さい

音 羽 黒坂 進

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

年の瀬に愛猫抱いてピエ口消ゆ

小日向 内野 仙也

松飾り焚きて一人を堪えてゐる

本郷 町田 菊男

履き慣れし靴にクリーム冬に入る

千石 菊地 正矩

入選

毛糸編む妻の隣で電子辞書

千石 大石 坦

歌留多読む声も姿勢も衰へず

大塚 奥山 興悦

綾とりの富士から梯子初あられ

向丘 丸岡 正児

苫屋裏捨自転車も冬に入る

駒込 横塚 敏子

紅葉の便り届くも籠の鳥

音羽 井上 策夫

モンサンミシエルの階段冬の月

本郷 外川 喜美恵

僧落葉掃く今日も掃く凜として

小石川 中野 千鶴子